

## 国内産主要二枚貝の下痢性貝毒成分組成の解明

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鈴木, 敏之 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012383">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012383</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



# 国内産主要二枚貝の下痢性貝毒 成分組成の解明

海区水産業研究部  
(財) 日本冷凍食品検査協会  
協力機関：道県漁連・道県水産試験場・衛生研究所等

## 研究の背景・目的

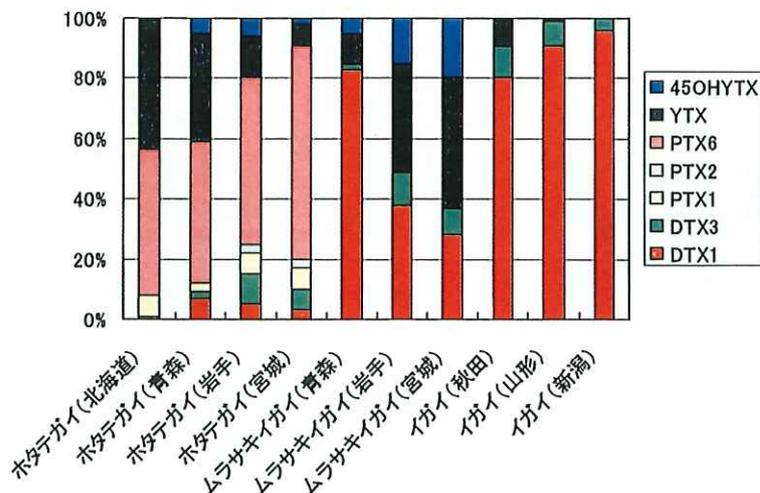
1. 下痢性貝毒により毒化した二枚貝の主要毒成分については、毒の精密分析に時間と労力がかかるため、一部の海域を除き、ほとんど解明されていない
2. 本研究では、液体クロマトグラフィー/質量分析法（LC-MS）による下痢性貝毒の高精度一斉分析法を用いて、国内の主要生産海域で毒化した二枚貝の毒成分組成を解明する

## 研究成果

1. 主要生産海域の二枚貝を200検体以上収集して分析した結果、ホタテガイ (*Patinopecten yessoensis*) の主要毒成分はペクテノトキシン6 (PTX6) とエットトキシン (YTX) であった。ムラサキイガイ (*Mytilus galloprovincialis*) の主要毒成分はジノフィシストキシン1 (DTX1) とYTXであり、イガイ (*Mytilus coruscus*) の主要毒成分はDTX1であった

## 波及効果

1. 現在開発中の貝毒簡易測定キットを各生産海域で毒化した二枚貝のスクリーニング検査に用いる際、指標とすべき毒成分の解明に向けて大きく前進した



国内産主要二枚貝の下痢性貝毒の組成比 (産地別平均値)